

成人
おめでとう

成人式実行委員会のみなさんに

二十歳の抱負

を語っていただきました

平成28年成人祝賀式
●1月10日(日) 午前11時～
(受付午前10時30分)
文化会館 大ホール
◎教育委員会 生涯学習課
☎43・6858



みやもと かずあき
宮本 和明
■有年中学校出身■

二十歳を迎え、大人というスタート地点に立って、うれしく思います。「大人」という言葉はまだまだ似合わない未熟な私ではありますが、これからは一人前の社会人としての責任と自覚を持ち、多くの人に貢献のできる社会人になりたいです。

こうして無事二十歳を迎えることができたのも、親切に教えてくれた先生方、一緒に過ごした友人、「おはよう」と声をかけてくれる地域の方々、そしていつも支えてくれた家族の存在。今まで出会った人たちに感謝しています。特に両親には元気に産んでくれたので、感謝しきれません。その両親のような大人になるのが理想です。

少しでも恩返しができるように、一人前と言われる大人に早くなり、何事にも一生懸命頑張ります。



やまもと りか
山本 梨加
■赤穂東中学校出身■

私は今、たくさんの仲間と共に生まれ育った「赤穂」という場所で二十歳を迎えることができます、とてもうれしく思っています。

高校を卒業して、就職し、社会人として2年目になりますが、学生の時とは違った意味での責任感、同じ年から年の離れた人たちとの人間関係など、社会の厳しさや楽しさを日々学びながら過ごしています。

これまでの20年間を振り返ると、辛い事や楽しい事もたくさんありました。そしていつも周りで支えてくれた家族、友人、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。その感謝の気持ちを忘れず、人に優しく思いやりのある大人になれるよう一歩一歩前に進んで行こうと思います。



なかの たかひろ
中野 貴博
■赤穂東中学校出身■

「二十歳」という節目を迎えられて、これまで育ててくれた両親とこれまでの人生で自分を支えてくださった全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

今は学生なので、経済的にも家族に助けられている状況でまだまだ未熟ですが、成人を迎えたこの機会に大人としての責任ある行動を心がけたいです。

そして、現在学んでいる工学分野で将来は社会貢献して、少しでも恩返しができるように大学では勉学に精進して、日々前進していこうと思います。中学時代の恩師から教わり、私の座右の銘となっている「念ずれば花開く」という言葉があります。この言葉のように、これからの人生は信念をもって貫き、努力を惜しまず自分しか花を咲かせたいです。



いしなか えりか
石中 絵梨香
■赤穂西中学校出身■

二十歳になって、自身で責任を負うことが増えてきて、大人とは…と考えると、親にたくさん支えられていたことにあらためて気づかされています。成人になったという実感はまだなく、幼い頃に描いていた大人とはかけ離れている私に、成人としての自覚を持たなければならぬと思う気持ちばかりです。

20年間を振り返り最も心に残っている中学校の生徒会の目標が、「気づき・考え・行動する」でした。この言葉は誰でも考えるべきことですが、思うばかりでなかなか実践できないでいる自分もいます。誰かのために何ができるか考えるだけでなく、行動にも移していける成人でいられるよう、日頃の感謝を忘れず大人へと成長していきたいです。



きみの たかさ
君野 吏
■赤穂西中学校出身■

まず、二十歳を迎えられてうれしく思うと同時に、ここまで育ててくれた両親や、私たちを支えてくれた皆さまに感謝したいと思います。

来年から私は、社会人になりますが、これまでの学生生活とは違い、すべての自分の行動に責任が問われてきます。また、普段の生活から、人間関係に至るところまで、すべてが今までと違ってきます。しかし、この20年間で学んできたことを、これからの自分の人生の糧とし、少しでも人の役にたてる人間になりたいと思います。

新成人全員が、これからも健康に、そして日々成長し、いつも感謝する心を忘れず、自分の人生を歩んでいけることができれば最高だと思います。



むらなか あやね
村中 文音
■赤穂中学校出身■

二十歳を迎えることができ、うれしく思うと同時に、社会への責任を負う不安でいっぱいです。

私は赤穂に生まれ、看護師という夢を叶えるため、大学生活を通して、たくさんの知識を身につけています。そして、「ふるさと赤穂」で信頼される看護師として、笑顔あふれる社会人になります。

私には、いつも一緒になってサポートしてくれる家族や友人、地域の方々など、たくさんの大切な人がいるからこそ今がありがとうございます。その方々に少しでも多くの「ありがとう」と笑顔が届けられるよう自分を信じ、日々の努力を積み重ね、夢に向かって進みます。どんなに大きな壁に遭遇しても、これまでの感謝を忘れず、辛い時こそ笑顔で乗り越えていきます。



かじわら けんた
梶原 健太
■赤穂中学校出身■

私は、私を産み育ててくれた両親に感謝しています。また多くの友人や、先生方に支えられて、心身ともに成長してきたことにも感謝しています。

小学校高学年の頃、毎日学校へ行くのが楽しくなり、そのころから小学校の教員になる夢を抱き始めました。その夢を実現させるため、今、大学で厳しい指導のもと、教員に求められる資質と能力を身につけられるよう努力しています。また、人間としてのさらなる成長を求め、海外インターンシップ研修やボランティア活動等、多くの体験を積んでいます。

誰からも認められる教員になって、この生まれ育った赤穂の地、人々に恩返しできるように努力していきます。